

九霞園

1929 年に開園し、その歴史とほぼ同じ樹齢の樹木を数本持つ九霞園では、元首相や皇族の所有していた盆栽を管理しています。ですがそこは、落ち着いた雰囲気のある場所です。この庭園で注目すべきなのは、盆栽が育つ方向に影響を与える、針金かけなどの強制的な技術を控えている点です。その代わり、ここでは全ての成長が自然なものです。美しい形と細部は、綿密で多大な時間を要する剪定によって作られています。九霞園のこの伝統は、鋏やその他盆栽道具の開発と流通という、もう一つの得意分野を生み出しました。同園には、通常盆栽では使用されない樹木が数多く存在します。それらのほとんどは本州産ですが、最北の北海道から取り寄せられているものもいくつかあります。